

平成 31 年度祥明大学校短期研修報告書

文学部 日本語日本文学科 2年 菘田綾乃

熊本の暑さとは違い、秋の訪れを感じた韓国での短期研修。私は9月18日～9月25日の8日間、祥明大学校天安キャンパスへの研修に参加しました。韓国へ行くのは今回が3回目でしたが、韓国の学生たちの生活などローカルは普段の旅行ではできないことで、それを体験できることを楽しみにしていました。今回の研修では祥明大学校の学生が常に行動を共にしてくれました。私は一人暮らしの学生の部屋でホームステイをしましたが、ホームステイは初めての経験でとても充実していました。1週間の活動やホームステイの中で感じたこと印象的だったことを報告します。



まずは『観光』についてです。研修中「ロッテワールド」「南山タワー」「昌徳宮」と多くの観光地を訪れましたが、特に印象に残った場所は先生方が案内してくださった「覚願寺」と「天安卿校」です。



←【覚願寺】

天安キャンパスから車で15分ほどの場所にある「覚願寺(カグォンサ)」は大韓仏教のお寺で南北統一祈願を目的に、1977年に開かれたそうです。境内には「観音殿」「大雄寶殿」「千佛殿」「山神殿」がありどれも日本の寺院とは異なる雰囲気でした。日本の有名な寺院は派手なものだと金色を主としたものが多くデザインも木彫りによるもののイメージがあります。韓国の寺院は、全体的に緑を基調としており、屋根の柱一つ一つにも細かく絵が描かれていました。日本以外の国のお寺を見ることはあまりないのでとても興味深かったです。

また、朝鮮時代に使われていた儒教の学校である「天安卿校」では、管理人の方がどの建物がどのように使われていたか、建物に飾られている漢文の意味の説明、門の出入りなど一

一つ一つ説名をしてくださいました。この学校が儒教の学校であったので、建物に飾られている漢文は孔子の教えでした。



↑【天安卿校】

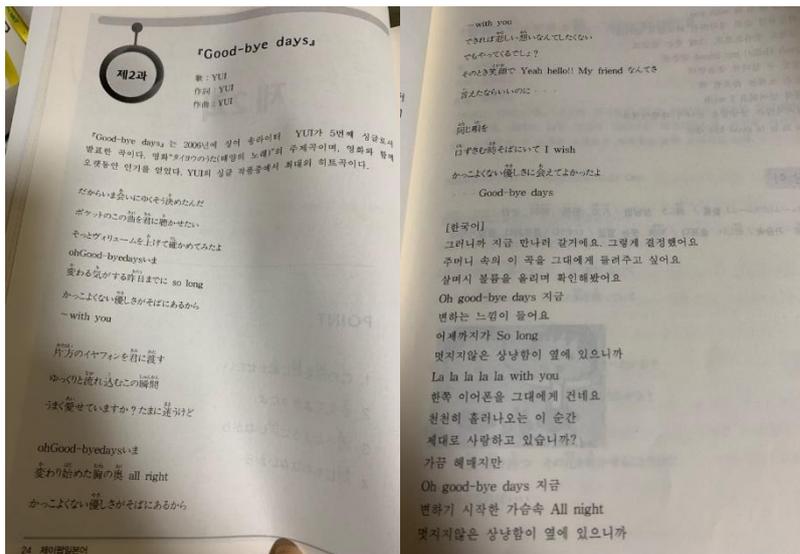


他にも「ロッセワールド」では、休日ということもあり、子ども連れの家族やカップル、学生で溢れかえっていました。この時期は丁度ハロウィン期間で夕方になるとゾンビの公演が行われていたり、ハロウィンメイクをすることができる場所があったりととてもにぎわっていました。

「昌徳宮」では韓国の伝統衣装の韓服を着て宮殿を歩き回りました。この日の昼食では韓国のお弁当が食べられるお店に行きました。韓国のお弁当は降って中身を混ぜてから食べるのでみんな交互にお弁当箱を振りました。日本ではしないことなので不思議な感覚でしたが、なかなかない体験ができたので、とても新鮮でした。

研修7日目には、祥明大学の日本語の授業を2つ参観しました。1つはビジネス日本語という授業で、これは日本語専攻の学生が受ける授業です。3名の韓国人学生に対し私たち日本人学生が1人ずつ付いたグループ活動で、実際の会社のような状況を想定した日本語会話を、教科書を用いた発話練習が行われました。発話の練習をする前に各グループで自己紹介を行ったのですが、その時、祥明大学の学生はみんな自分の名刺を持っていました。教科書の中身も本格的で、単語の説明はありますが、文の訳は載っていませんでした。授業でも先生は日本語で説明されることが多かったです。

もう1つは中級日本語という授業で、このクラスは、日本語を専攻していない学生が受ける授業でした。この授業でも数名の学生と研修生1人のグループになり、自己紹介をしました。このクラスは日本語のレベルにばらつきがあり独学で日本語を勉強していたという学生がほとんどでした。また韓国は高校生の時に第2外国語を選択することができるようで、高校から日本語を学んでいるという人もいました。日本では高校で第2外国語を学



習することはないので、その点では韓国と日本の教育は違いがあると感じました。このクラスは韓国語での説明で J-POP を使った授業でした。

韓国は教育水準が高いとよく耳にしていましたが、高校生のうちから英語以外の外国語を学べたり、留学を志望する学生

が多かったりと学習への意識が高いと思いました。

最後に、今回の短期研修を終えてまず思ったことは、ニュースと実際の韓国のギャップです。現在、日韓の関係は良好とは言えず、日本のニュースではデモのことを多く取り上げるので、周囲の人々からこんな時期に行って大丈夫なのか、やめた方がいいのではないかと多く言われました。しかし、実際今回研修してみて、デモを見かけることはなく、悪口を言われることもありませんでした。むしろ多くの韓国人の方に親切にいただき、楽しく1週間を過ごすことができました。実際に目で見て肌で感じることで学ぶことはたくさんあります。1つの面だけをみて決めつけるのではなく、物事を多角的にみて、自分で感じる事が一番大切だということを今回の研修を通して考えるようになりました。今回の研修で自分が体験したことを伝えていき、多くの人にニュースだけの情報を鵜呑みにせず、韓国の事を知ってもらうことがこれからの自分の役割ではないかと思っています。

とても身になる7泊8日でした。ありがとうございました。

